

## 2023年度 学年指導目標

### 1. 自分のまわりに喜びと光をまく人として将来社会に貢献できる人材を育成する

3年間の高校生活を見据えて、中間の学年となる今年度は、1年次の経験を生かし、また3年次や卒業後の人生に向けて充実した1年間となるようにサポートしていきます。そのために以下の3つを重点として、指導を行います。

- ・自分と他者を大切にすること
- ・ボランティア活動、SDGsの取り組み
- ・基本的な生活習慣の確立

周りのために力を尽くすにはまず自分自身を見つめ、知り、長所を生かすことが大切です。自分を大切にすることで、自分のことのように相手を大切にできるように努めます。

ボランティア活動、SDGsの取り組みについては、カトリック学校として、また地球に住む一人の人間として意識を高めさせたいと思います。基本的な生活習慣に関しては、精神面に不安を抱える生徒や体調不良が続く生徒に対して、教育相談、養護教諭と連携を取りながら対応していきます。また、遅刻や欠席が多い生徒は、家庭との連携を図り減らしていきたいと考えています。

### 2. 進路を見据えた学習の取り組み

高校2年生は、総合的な探究の時間などを通して、自分の進路について具体的に考える機会が多くなってきます。自分にとって最適な進路選択をさせるために目標を以下の3つとします。

- ・基礎学力の定着
- ・進路決定に向けての情報収集と学校・職場見学
- ・自分の好きなこと、良さ、得意なことを見つける

進路実現のために何が必要なのか、今取り組むべきことは何なのかをじっくり考え、行動に移せるように、家庭と協力してサポートしていきたいと考えています。

### 3. 行事への取り組み

- ・リーダー育成の場
- ・心の成長の場

学校行事を、授業では得られない成長の場として考えて、自分らしさや良さを表現し、一人ひとりが活躍できるように指導していきます。体育祭やバザーなど大きな行事だけではなく、学年やクラスで活動する場面などにおいても、リーダーの育成や心の成長の場として捉えて、周りと協力して行事に参加し、様々な経験をすることで充実感をもたせたいと考えています。

### 4. 教員としての生徒との関わり方

- ・生徒を一人の人間として愛をもって大切に向き合う
- ・保護者との関わり・連携を大切にする
- ・学年全体で生徒にかかわる

生徒が充実した学校生活を送るために、教員の関わり方は重要だと考えています。

高2学年教員全体で情報を共有し、協力して指導にあたり、生徒・保護者の皆様と信頼関係を築いていきたいと思っています。